

制度が求める「尊厳ある自立」で効果を出す!!

in 東京

自立支援のデイづくりセミナー

今、デイには「自立支援、重度化予防の取り組み」を強化し、「質の高いサービス」を実現することが求められています。

本当の意味での自立支援とは何かを理解し、その上で環境・プログラム・システムなど、これからのデイの運営に必要なことなど、総合的な自立支援のデイづくりを学びます。

あなたのデイが大きく変わる!!

- 参加者の声**
- ・今までのデイは何だったのか!! 本当のデイ運営がわかった
 - ・非常に役に立った。改善すべき点がたくさんわかった
 - ・実際のツール等の紹介もあり、すぐに取り入れたい
 - ・具体例が多く役立った! 明日からすぐに真似していきたい!
 - ・目からウロコの内容、運営の悩みが解決できました!
 - ・たくさんの職員と一緒に受講すればよかった
- など多くの感想が寄せられています

セミナー内容

1. 自立支援とは

- (1) 自己選択・自己決定・自己遂行の支援
- (2) 「尊厳を伴った自立支援」とは

2. 何を「自立支援」するのか

- (1) 「身体機能改善」の限界と「ADL改善」の限界と留意点
- (2) 「裏価値観の植え付け」の注意 など
- (3) 介護は「豊かな生活」「充実した人生」の実現を支援する

3. 制度が求めるデイサービス、デイケアについて

- (1) デイの機能
- (2) 今後必要となるデイの機能

4. 過剰介護について

- (1) 身体面での過剰介護と精神面での過剰介護
- (2) TPOに応じた対応
- (3) 人生総体から考える自立支援
- (4) 過剰介護を防ぐために

5. 自立支援の環境づくり

- (1) 環境の種類
- (2) 自立支援の環境づくりの考え方
- (3) 自立支援の環境づくりの例

6. 自立支援の介助技術

- (1) 自立支援の介助の考え方
- (2) 自立支援の介助技術 (実技)
 - ①食事介助 ②移動介助 ③起立・歩行介助 他
- (3) 福祉用具・自助具の活用

7. 自立支援のプログラム

- (1) デイプログラムの考え方
- (2) 自立支援のデイプログラムの例

8. 自立支援のシステムづくり

- (1) 自立支援のシステムの考え方
- (2) 自立支援のシステムの例

9. 「地域包括ケア」「共生社会」の中での自立支援のデイづくり

- (1) より大きな形での自立支援の考え方
- (2) デイの力は無限大

10. その他

デイ以外の事業所でも役立つ内容になっています。さまざまな部門の方の参加をお待ちしております。

日程

6月29日(土)・30日(日)

10:00~15:00 (両日共)

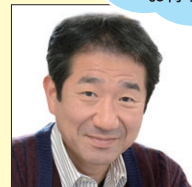
会場

リロの会議室田町

(JR山手線・京浜東北線田町駅より徒歩約3分)

講師 / 妹尾 弘幸 氏

(株) QOLサービス 代表取締役
月刊デイ編集長
早稲田大学大学院 元非常勤講師



＜講師の運営する施設の特徴＞

- ・1ヶ所に7つの異なるデイを運営(1日の定員が100名の大規模デイ、男性8割のデイ、95%が女性のデイ、中重度向けデイ 他)
- ・リビングオブザイヤー2017で見事日本一! 入居待ち90名以上のグループホーム
- ・リハビリに力を入れているリハビリショート、リハビリヘルパーなど、高品質介護&多彩な工夫

受講料

24,000円 (2日間: 税+資料代込)

その他

1日のみの参加不可 (2日間のうち、同法人の場合は) 参加者変更OK!

自立支援のデイづくりセミナーin東京 お申し込み書

FAX 084-948-0641

ふりがな	①	②	③	④
参加者名				
法人名 (勤務先名)				
住所	(□法人 □自宅※どちらかに✓をつけてください)			
	〒	連絡先 □法人 □自宅 ※どちらかに✓	TEL	
			FAX	
			携帯電話	
			メールアドレス必須	@
職場種別	デイサービス・デイケア・特養・老健・グループホーム 小規模多機能・他 ()		職種	経験年数

*上記個人情報、当研究会の管理・運営に関するのみ使用します。 最少催行人数に達しない場合は中止になる場合があります。

お申し込み

日本通所ケア研究会

〒721-0902

広島県福山市春日町浦上1205 (株) QOLサービス内

TEL 084-971-6686

研究会ホームページ

<https://www.tsuusho.com/>

メール info@tsuusho.com

FAX 084-948-0641